



男子ハンド那覇西ベスト4

全力出し切り 悔いない笑顔

―22と点差をつけられ敗退した。練習量の多さか、出場チームの中で最も色黒の沖繩らしい選手たち。持ち前のパワーと粘りのハンドを売りに挑んだが、前半でリズムが乱れた。それでも、當間健仁将は「3年間頑張った仲間と力を出し切った」と笑顔を見せた。

選手たちにも充実感も広がっていた。広い視野と巧みなパスワークを見せた刈鎌魁斗は「もっとボールがつかねばいい展開になった。でも悔いのない内容です」と胸を張った。182

17日に終了したハンドボールの全九州高校体育大会で、男子那覇西は優勝した大分雄城台に、準決勝で12

素早い攻撃が得意の那覇西だが、相手守備を崩し切れず、なかなかシュートが決まらない。挽回したい気持ちだけが前のめりになってしまい、鍛えた1対1も相手守備と距離が近く、タフな状況に追い込まれ、ミスから失点を許し続けた。

與那嶺直樹監督は「これが実力」と語るが、「中学ではそこまで実績がない選手だがよく頑張った」とたたえた。

「強い気持ちを持って出す泥臭いハンドで活躍してほしい」と話し、後輩たち

(嘉陽拓也)